

イノベーションを促進するエンジェル税制の拡充を

経済同友会は9月21日、意見書「イノベーションを促進するエンジェル税制の拡充を」を発表した。

経済社会の活力を維持・向上し、持続的発展を遂げるためには、社会のあらゆる分野においてイノベーション（革新）を推進していかなければならない。

また、新たな成長を目指すためには、リスクに果敢に挑戦し、新しい事業分野を創造していくことが不可欠である。

イノベーションの推進に大きな役割を果たす起業環境の整備は、IT、ナノテクノロジー、バイオテクノロジーなど先端産業の育成や、再チャレンジ可能な

社会の実現、若年者、女性、高齢者などへの新たな雇用機会の提供にも大きく貢献する。

経済同友会は、これまでも新事業創造推進に向けた提言を行ってきたが、新たな経済成長の原動力となる起業を一層増やすために、今回、改めてエンジェル税制の拡充を求める。

意見書の概略

I. エンジェル税制改革の視点

- 1 創業間もないベンチャー企業にリスクマネーを的確かつ機動的に供給するという視点から、ベンチャー企業に対する同税制適用要件を見直すべきである。
- 2 エンジェル税制の適用企業に投資した株式の譲渡に関して、利益が発生した時より、損失が発生した時の措置を充実させるべきである。
- 3 民間の視点で、新たなイノベーションを推進し、将来大きく成長する可能性の高い企業を見極めて投資を行うベンチャー・キャピタルの投資先については、一層の優遇措置を講じていく必要がある。

II. 適用企業要件と株式譲渡損失控除の改革

■エンジェル税制改革案（経済同友会提言）

